

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信 No.49  
平成29年2月15日

## 輪中の郷を訪問しました

総合的な学習で福祉について学習している4年生は、1年間のまとめの学習として、2月3日（金）に特別養護老人ホーム「輪中の郷」を訪問しました。

子どもたちがお年寄りの方と楽しくふれあい、ちょうど節分の日だったので、一緒に豆まきをしました。最後に運動会で踊った「ソーラン節」を披露し、感謝を込めて歌をプレゼントしました。輪中の郷の職員の方に仕事についてお話を聞き、介護の仕事の大切さを知ることができました。子どもたちは、お年寄りの方とのふれあいを、心から楽しむことができました。



### 子どもたちの振り返りカードより

- ・ 私が握手をした人は、すごく優しいおばあさんでした。「がんばったね」とか「えらかったね」と褒めてくださって、私たちの言葉にも笑顔で応えてくださり、とても嬉しく思いました。歌は、学習発表会の時のように美しい声になるように歌いました。おばあさんたちが拍手するのを見てとても嬉しくなりました。
- ・ 輪中の郷に行って分かったことは、職員の方のお仕事は、大変だということです。おじいさんやおばあさんのために食べやすい食事を作ったり、生活しやすいように介護したりと本当に大変だなあと思いました。輪中の郷に行って介護の仕事をやってみたいと思いました。
- ・ 輪中の郷では、お年寄りの方に質問したり自己紹介したりして、楽しくふれあうことができました。私たちが鬼になって、お年寄りの方たちが豆をまくのも楽しかったです。楽しく過ごせて、本当に良かったです。